

みんなの大和 NEWS

<発行部数 14200部>

発行／中野区大和区民活動センター運営委員会
編集／みんなの大和 NEWS 編集委員会
住所／〒165-0034 中野区大和町 2-44-6

TEL／03-3339-6125 FAX／03-3339-6126
集会室予約／03-3339-6141
Email／nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp



大和区民活動センターは、 皆さまのご来館をお待ちしています。



大和町の皆さまの活動拠点です。



大和区民活動センターは“誰もが暮らしやすい町の実現”に向けて、中野区が15地域に設置した区民活動センターの一つです。運営は、大和町が組織した運営委員会が担い、アウトリーチ推進・運営委員会事務局・窓口業務の3つの部署が、地域の皆さんの自治活動拠点として、活動の支援を行っています。各部署の役割を確認のうえ、どうぞお気軽にご利用ください。

篤宮すこやか福祉センターアウトリーチ推進係長・大和区民活動センター所長／大表 直

皆さまの暮らしを守るお手伝いをします。
《アウトリーチ推進》
☎03 (3339) 6142

アウトリーチの役割は、大和地域にお住まいの方が要介護状態になっても、住み慣れた町で自分らしい暮らしが出来る限り続けられるよう、区の住まい・医療・介護・生活支援の担当窓口につなげることです。他に、町会・自治会・民生児童委員の活動の支援や、新しい住民の方が求める活動の立ち上げや支援サポートも行います。当センターでは2名の職員が、皆さまのご相談をお待ちしています。

事業を通じて、皆さまとの交流を図ります。
《運営委員会事務局》
☎03 (3339) 6125

事務局は、「大和ギャラリー」「カフェカトレア」「健康体操カトレア」「敬老の集い」「防災講座」「大和クリスマスコンサート」などの運営委員会主催事業や、「大和地区まつり」「炊出し訓練」などの支援事業の管理・運営を担っています。また、地域の情報を皆さまにお届けする「みんなの大和ニュース」やホームページの制作を通じて、親しみのある大和区民活動センターを目指しています。

まずは私たちにご相談ください。
《窓口業務》
☎03 (3339) 6141

窓口業務は、5名の担当者が2名ずつの日替わり勤務で、集会室の受付・集会室利用の管理・車椅子の貸出し・印刷機の貸出し・公園使用の受付・パスポート申請書のお渡しなどを行っています。皆さまと接する機会の一番多い部署ですので、お気軽にご相談ください。皆さまがご利用になる集会室の情報は、次ページで紹介しています。なお、各種証明書の発行はしておりませんのでご注意ください。



●大和区民活動センター運営委員会のホームページも、ぜひご覧ください。
<http://www.nakano-yamato.gr.jp/> 左の二次元バーコードが利用できます。

ター施設のご案内》

ご利用になる集会室と、
利用グループを紹介します。
グループに参加希望の方も、
窓口でご相談ください。



お茶会グループ



三療サービス



サージ・囲碁・将棋・麻雀・手芸など、畳の部屋を便利に
しています。

手芸グループ



会議使用



朗読・絵手紙・百人一首・点訳・パソコン・演劇など、



絵画・書道・
発表の場です。



●カフェトリア 皆さんの憩いの場。
現在はコロナ収束まで休業中です。

ワイワイ



卓球グループ



卓球・合気道・健康体操・ダンスなどのグループが活動
しています。

センターの開館時間 / 8:30~22:00

*受付の対応時間 / 8:30~17:00 *集会室利用時間 / 9:00~22:00
*休館日 / 年末年始 (12月29日~1月3日)

3F



- 和室 (1・2・3・4号室)
1号室と2号室・3号室と
4号室は併せて利用できます。
- 調理室

2F



- 洋室 (1・2・3号室)
2号室と3号室は併せて
利用できます。
- 地域活動室

1F



- ロビー ●カフェトリア
- 大和ギャラリー
- 使用済み回収ボックス
- 貸出車椅子 ●貸出印刷機

←東側出入口

正面出入口→

受付

事務局

アウトリーチ推進

B1



- レクホール ●音楽室

集会室のご利用は、 窓口業務の私たちが承ります。



集会室のご利用には、**団体登録が必要です。**

＜登録ができるのは＞

- 5人以上のメンバー数であること
- メンバーの半数以上が、中野区在住・在勤・在学の方であること
- 営利を目的としないこと

＜団体登録申請のとき、提出していただくもの＞

- 集会室等使用団体登録申請書・緊急連絡先確認簿・会員名簿
- *記入用紙は窓口に用意（区のホームページからダウンロードも可能）
- *在学・在勤の場合は確認書類（写し）を提出
- *申請後、約1週間で団体登録証を発行
- *特例使用として、中野区在住・在勤・在学の方はお一人からでもご利用できます。
- 使用日抽選会・集会室使用料金・貸出物品など、詳しくは受付カウンターの「集会室のご案内」をご覧ください

江戸蕎麦打ち研究会



●調理室 蕎麦打ちはコロナ禍のため現在は休止中。

麻雀グループ



●和室 茶道・マツコを使った活動

絵画グループ



椅子を使った楽しい体操



●洋室 会議・健康体操・書道・絵画・墨絵・手芸
多くのグループが活動しています。



●貸出車椅子 6台の車椅子を準備。
貸出期間は基本1週間です。



●使用済み回収ボックス 左から蛍光管（東側出入口）・
小型家電・乾電池・インクカートリッジ（正面出入口）



●大和ギャラリー 写真・
手芸など、腕自慢の皆さんの

館外設備



●シェアサイクル 東側出入口に
設置。「利用書」があります。



●駐輪場 一部駐車スペースがある
ので、ご注意ください。

混声合唱団オリオール



●音楽室 コーラス・合唱団などの
グループが活動しています。

健康体操みんなで



●レクホー

針・お灸・按摩 三療サービス

60歳以上の方にマッサージ

- 日時/毎月第3木曜日 09:30~
 - 場所/当センター3階和室1・2号室
 - 費用/900円(45分)
 - 受付電話番号/3339-6141
- 受付は当日09:00から電話受付のみで、先着14名様に限らせていただきます。日本手拭2本と、バスタオルを持参。

大和地域の“現状と将来”についての勉強会を開催しました。



1月25日(水)当センターの主催で開催した「<2022年度>地域支えあいネットワーク大和地域懇談会」に、町会や地域団体などから33名が参加しました。

講師の中野区地域包括ケア推進担当部長/藤井多希子氏による、中野区と大和地域の様々な現状から導き出される将来予測のお話でした。中でも、これから増え続ける高齢者の「認知症」や「ひとり暮らし」に対する「地域の支えあい」の大切さを学びました。



講師の藤井多希子さん

YAMATO GALLERY

大和ギャラリー

■大和区民活動センター1階ホール

展示予定

- 3月25日(土)まで
【<第14回>大和友愛会写真展】
- 3月27日(月)~4月8日(土)
【秀峰&大鶴二人展】
- 4月10日(月)~5月5日(金)
【大和の端午の節句】
- 5月8日(月)~6月10日(土)
【<第22回>大和写真クラブ写真展】

切手を切って整理するボランティア活動 大和すたんぷクラブ 《参加者随時募集》

- 日時/毎月第2木曜日(予約不要・祝日休み) 14:00~15:30
- 会場/センター2階洋室2・3号室

*整理していただいた切手は換金の上、ボランティア基金に積み立てています。



伝言板

新型コロナの状況次第では中止になる場合もあります。館内ポスター・ホームページ・事務局でご確認ください。

■問合せ/大和区民活動センター運営委員会事務局
☎(3339)6125 Email:nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp

健康体操カトレア

★毎月第1月曜日は「みんなでワイワイ/ポッチャ」(無料)●時間/13:30~15:30

●会場/センター地下レクホール
講師/長野誠先生(スポーツボランティア)

★毎月第3月曜日は「椅子を使った体操」(無料)●時間/13:30~15:30

●会場/センター2階洋室2・3号室
講師/山本明子先生(中野区トリム体操連盟会長)

<まちなかサロン>傾聴サロンやまと

傾聴ボランティアと、楽しいおしゃべり!

●開催日時/毎月第1木曜日(予約不要・祝日休み) 13:30~14:30

●会場/センター2階洋室2・3号室
●参加費/200円(ドリンク・茶菓子)

3年ぶりの開催『<令和4年度>大和町町会連合会新年会』

2月7日(火)18:00から高円寺の「豊味苑」で、町会関係者や議員さんなど43名が参加して開催されました。最初に来賓の方々のご挨拶がありましたが、4月に選挙を控えている区議会議員の方々の言葉には、特に力が込められていました。町会の方々は、コロナ禍のために3年ぶりの開催になった新年会を、他町会の方々と久しぶりの交流で楽しんでいました。



大和の

マイスター

59

「茶道」という総合芸術の伝道師 谷口宗鶴さん



茶道「大和の会」の講師であり、地域の保育園や小学校でも茶道の魅力を伝えている、谷口宗鶴さんにお話を伺いました。谷口さんは、15年前頃、当センターで茶道を指導していた先生から「地区まつり」のお茶席の手伝いを依頼された

のきっかけで地域との関わりができ、その約3年後に会の立上げに参加しました。現在、概ね月4回、4名の女性会員を指導しています。

ご自身は、お茶とお菓子をいただいて作法を学べる、という軽い気持ちで茶道を始めましたが、次第に奥の深さに魅かれ、継続する意欲につながって今日にいたっています。茶道は、お点前だけでなく、生け花や習字・お香・短歌など日常生活に密着した素養が必要な総合芸術で、これらを会得しないとお客様への「お茶事」ができないとのこと。一方で、決まり事が多いために、お茶を点てている時は集中でき、これがリラックス効果につながっているようです。

3年前には、美鳩小学校から依頼があり、6年生の授業で茶道の指導をしました。茶の湯の歴史についてお話ししてから、歩き方・お辞儀やお茶の点て方などの所作を指導し、点てたお茶を児童それぞれが作った茶碗でいただきました。「先生がとても熱心で、生徒さんも真剣に授業を受けてくれた上、感謝のお手紙までいただいていたので感激しました」と、うれしそうにお話しています。「茶道は奥が深く、終わりがありません。永遠に修行です」と、60年以上に及ぶ研鑽を経てもなお、謙虚なおっしゃる姿に頭が下がります。



「大和の会」のメンバーと



七海保育園で茶道を披露



美鳩小で茶道の指導

